

たすきで想いをつなぐ

第41回南関町駅伝大会

町は南関町駅伝大会を12月3日、農村広場をスタート・ゴールとするコースで開催しました。師走の恒例行事で今年が41回目。16チーム人が出場し、12区間26.5キロのルートをとすきでつなぎました。

この日は天気に恵まれ、選手たちは全力で走り切りました。沿道からは温かい声援が送られ、選手の力となりました。

優勝は、関東チームとのトップ争いを制した久重チーム。監督大石英夫さんは「2連覇できてうれしい。来年は監督を交代するので、いい流れを引き継ぎ3、4連覇を目指してほしい」と力強く語りました。

躍進賞は昨年より6分36秒タイムを短縮した肥猪・肥猪町チームAでした。

区間賞 (敬称略)

1区 原 啓四朗(関東)	7区 松永 耀(上坂下)
2区 黒肥地健琉(関村)	8区 谷崎 仁(四ツ原)
3区 平岡 佑成(関下・細永)	9区 嶋永 健一(関町下)
4区 原賀 憲(東豊永)	10区 内野 輝(関町上)
5区 糸山 陸(細永南・西豊永)	11区 堀島 まゆ(久重)
6区 中村 映斗(久重)	12区 津留健太郎(関東)



優勝した久重チームの皆さん

成績

順位	チーム名	タイム
1位	久重	1時間36分01秒
2位	関東	1時間39分23秒
3位	細永南・西豊永	1時間40分39秒
4位	関村	1時間40分51秒
5位	関下・細永	1時間42分41秒
6位	肥猪・肥猪町A	1時間42分58秒
7位	東豊永	1時間44分18秒
8位	上坂下	1時間47分43秒
9位	小原・小原団地 定住促進住宅	1時間49分42秒
10位	関町下	1時間49分58秒
11位	下坂下	1時間51分28秒
12位	相谷・向原	1時間54分37秒
13位	関町上	1時間54分58秒
オープン	肥猪・肥猪町B	2時間10分13秒
オープン	坂下合同	2時間11分02秒

がんばる高校生

福山里穂さん、武田彩花さん、高向由奈さん

福山里穂さん(相谷)、武田彩花さん(関東)、高向由奈さん(下坂下)が12月5日、佐藤町長を表敬訪問し、平成29年度熊本県がんばる高校生受賞を報告しました。

これは、学業・スポーツ・文化・ボランティア活動などで他の生徒の模範となる高校生の功績を讃え、将来の夢の発見や夢の実現に向かって頑張る高校生を応援するものです。3人は10月20日に熊本市で行われた受賞式で県知事表彰を受け、受賞の喜びを露わにしました。

福山さんは「保育士を目指して頑張ります」と、武田さんは「将来は海外で活躍できるように頑張りたい」と、高向さんは「頑張って小学校の先生になりたい」と述べると、佐藤町長は「受賞したことを誇りに思い、自信を持って夢に向かって頑張ってください」と激励しました。



佐藤町長に受賞を報告した生徒たち(左から福山さん、武田さん、高向さん)



起工式の様子

新しい加工品の開発

南関町加工品開発センター

町は12月1日、南関町加工品開発センター(関町)の起工式を行いました。

起工式には指定管理者の一般社団法人南関ふるさと応援団の花見洋昭代表や佐藤町長などが出席し、工事の安全を祈願しました。

この開発センターは、町で産出されるさまざまな農産物や特産林産物などを活用し、新しい加工品の開発を行い、第一次産業の活性化、農業所得の向上および就業機会の確保を目的として設置。新設する開発センターの敷地面積は908平方メートルで総延べ床面積は448平方メートルです。今年の3月23日に竣工し、4月1日からの供用開始を予定しています。

南関町総合防災マップ発行に関する協定締結 町と株式会社ゼンリン

町は11月27日、地図情報サービスの株式会社ゼンリンと「南関町総合防災マップ共同発行に関する協定書調印式」を行いました。

当日は佐藤町長とゼンリンの榎垣晋一郎部長、立会人として南関町商工会の花見洋昭会長が出席。この協定は、行政の視点だけでなく住民や事業所の意見を取り入れ、住民のための総合防災マップを作成することを目的として締結。町の土砂災害や浸水の危険箇所、避難所情報を入れ、また防災に関わる対策の記事や緊急時の持ち出しリストなども入れ作成します。マップは48ページの冊子で、3月までに完成し町内全世帯に配布を予定しています。

佐藤町長は「防災マップは町民の安全・安心に直接役立つ感謝します」と話しました。



左から佐藤町長、花見さん、榎垣さん

大きく育つことを願って

第四小学校1・2年生

エコアくまもと(下坂下)の職員3人が11月29日、第四小学校でドングリの鉢植え体験を実施。1・2年生が参加し、ドングリの種を植えたポットからプランターへ植え替えをしました。

今回の体験は、同施設が取り組んでいる環境学習の一環で開催。平成28年12月に植えた種が成長し、成長した苗をスコップで優しく植え替えました。今後はエコアくまもとで管理し、5・6年生になった児童たちが、同施設の敷地内に植栽する予定です。

伊藤帆乃さん(上坂下)は「鉢植えは初めて。丁寧に土を入れるのが難しかったけど、大きくなってほしい」とドングリの成長を楽しみにする声が聞かれました。



ドングリの苗を植えた児童とエコアくまもと職員



優しい地域の見守りと笑顔の大切さ

健康と福祉のつどい

南関町健康づくり推進協議会(会長:佐藤町長)は11月22日、南の関うから館で「健康と福祉のつどい」を開催しました。

これは、同協議会が健やかでいきいきと暮らせるまちづくりの実現を目指して、毎年企画しています。

この日は、はやめ南人情ネットワーク代表世話人の汐待律子さんによる「認知症でも自分らしく～地域で作る見守り体制～」と題した講演が行われ、参加者は地域の見守りの大切を確認しました。また、くまもと笑いヨガ倶楽部の西嶋敏さんによる笑いヨガ体験も行われ、手を叩き声を出して笑ったり、触れあったりして会場には温かな笑い声が響きました。



真剣に講師の話聞く児童たち

かしこい選択で自然を大切に

3小で環境学習会

南関第三小学校(大木洋一郎校長)は11月28日、同校で環境学習会を開催しました。

この日は、NPO法人くまもと温暖化対策センターの米澄和孝さんと田邊裕正さんを講師に迎え、全校児童が参加。児童向けのエコノートを使い、絵に描かれた生活の様子ではどれだけ電気や水などを無駄にしているかを確認し、実際にどうすれば資源を守ることができるかを学びました。また、廃食油をろ過し自動車などの燃料油に変わった綺麗な油を見て、児童からは歓声があがりました。

杉本瑠名さん(相谷)は「今まで使った後の油は捨てていたの、これからは集めて持っていきたい」と語りました。